

## 京都大学防災研究所 平成 29 年度 共同研究報告

平成 8 年度より、全国共同利用研究所として共同研究を実施している。平成 22 年度からは「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として新たな枠組みで共同研究課題の募集を行った。応募があった研究課題は、共同利用・共同研究拠点委員会で公正な審査のうえ採択が決定される。平成 29 年度の各種目についての応募件数、採択件数及び共同研究費は次の表のとおりである。

	応募件数	採択件数	共同研究費 合計(円)
一般共同研究(継続課題)	-	10	11,782,000
一般共同研究(平成 29 年度)	22	3	2,440,000
一般共同研究(平成 29-30 年度)		9	11,384,000
国際共同研究(継続課題)	-	3	4,550,000
国際共同研究(平成 29-30 年度)	14	4	5,760,000
一般研究集会	13	11	6,463,000
長期滞在型共同研究	8	3	3,338,000
短期滞在型共同研究	7	5	1,172,000
地域防災実践型共同研究 (一般)(継続課題)	-	3	3,830,000
地域防災実践型共同研究 (一般)(平成 29-30 年度)	1	1	1,130,000
地域防災実践型共同研究(特定)	-	1	3,000,000
萌芽的共同研究	8	5	1,270,000
重点推進型共同研究	2	2	3,150,000
拠点研究(一般推進研究)	5	4	11,025,000
拠点研究(特別推進研究)	1	1	6,000,000
特定研究集会	7	5	3,241,000

以下の報告は、平成 29 年度に実施された一般共同研究 22 件、国際共同研究 7 件、一般研究集会 11 件、長期滞在型共同研究 3 件、短期滞在型共同研究 5 件、地域防災実践型共同研究 5 件、萌芽的共同研究 5 件、重点推進型共同研究 2 件、拠点研究 5 件、特定研究集会 5 件の報告である。一般共同研究及び萌芽的共同研究の参加者は 176 名、国際共同研究の参加者は 48 名、一般研究集会の参加者は 1,026 名、長期・短期滞在型共同研究の参加者は 38 名、地域防災実践型共同研究の参加者は 49 名、重点推進型共同研究の参加者は 317 名、拠点研究の参加者は 60 名、特定研究集会の参加者は 806 名である。また、これらの共同研究等の採択課題名は、防災研究所ニューズレターに掲載された。

本研究所では、施設・設備のいくつかを所外研究者の利用に供している。それらの利用状況を本報告書の終わりに掲載した。